

平成 28 年度 第 3 回 帯広市健康生活支援審議会 議事録

日 時：平成 29 年 2 月 22 日（水）

19：00～

場 所：市役所本庁舎 10 階 第 6 会議室

（社会課長）

本日はお忙しいところ「帯広市健康生活支援審議会」にご出席いただきましてありがとうございます。

開会に先立ちまして、堀田保健福祉部長より、新しい審議会委員に委嘱状をお渡しいたします。北海道民生委員児童委員連盟帯広支部よりご推薦いただきました、松田 安巨（まつだ やすたか）様

松田委員、前にお進みください。

（保健福祉部長）

（堀田部長より松田委員へ委嘱状交付）

（社会課長）

審議会開催にあたりまして、堀田保健福祉部長より挨拶を申し上げます。

（保健福祉部長）

皆さん、こんばんは。保健福祉部長の堀田でございます。

本日は、お忙しいところ、また、夜分にもかかわらずお集まりいただきまして誠に有り難うございます。

本来であれば、米沢市長がご挨拶を申し上げるべきところですが、他の用務で出席がかないませんことから、私から代わりましてご挨拶申し上げます。

皆様には、日頃より市政に対し多大なるご協力とご助言を賜り、この場をお借りしましてお礼申し上げます。また、保健・医療・福祉、子育て支援に関する総合的な調査審議や、保健福祉関係の各種計画の策定や確認など、重責を担っていただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

私どもも、委員皆様のご意見等も踏まえながら、市民が安心して暮らし、子どもを育てられる環境づくりに取り組んできているところであります。

そうした中、災害や日々変わる社会情勢、市民を取り巻く環境の変化、少子化や高齢化などにより、地域が抱える課題は多岐にわたり、福祉行政に対するニーズも複雑化しております。

帯広市においては、子どもから高齢者まで市民の誰もが生き生きと暮らすことができるまちづくりを目指し、帯広市地域福祉計画を策定し、各施策の策定や評価を実施しながら、持続可能で自立した地域づくりを進めております。

本日のこの審議会では、第二期帯広市地域福祉計画の進捗状況を審議いただく予定となっております。

平成29年度には個別計画である、第七期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、第五期帯広市障害福祉計画の策定や第二期けんこう帯広21の中間評価を控えており、皆様から率直なご意見を賜りたいと思っております。

また、着実に福祉行政を進めるため、先ごろ発表いたしました帯広市平成29年度予算では、保健福祉部とこども未来部を合わせまして予算全体の3分の1を占める約282億円を計上しております。

皆様のご意見をいただきながら、事業の執行に努め、より良い地域づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、何卒、活発なご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、ご出席の皆様のますますのご活躍を祈念申し上げ、ごあいさついたします。

1 開会

(社会課長)

それでは、ただいまより平成28年度第3回「帯広市健康生活支援審議会」を開会させていただきます。

本日の審議会には、審議会委員23名中20名のご出席をいただいております。本審議会は、審議会条例第7条第3項により成立しております。

なお、本日、宇野委員・金須委員・村上委員より欠席のご連絡を頂いております。その他の委員についてはお手元の座席表通りとなっておりますのでご了承願います。

次に本日使用いたします資料について確認させていただきます。

お手元の配布資料一覧をご覧ください。

資料1 平成28年度 第2回帯広市健康生活支援審議会議事録

資料2 帯広市健康生活支援審議会委員名簿

資料3 第二期帯広市地域福祉計画 平成27年度進捗状況報告書

資料4 第二期帯広市アイヌ施策推進計画

平成27年度事業実績・平成28年度事業実施状況

資料5 平成29年度予算案総括表（保健福祉部・こども未来部所管部分抜粋）

資料6 各種分野別計画（福祉分野）策定スケジュール

こちらの方は本日配布ということで机のほうに置かせていただいております。

不足の資料がありましたら、お知らせください。

2 会議

(社会課長)

それでは会議に入らせていただきますが、以後の進行につきましては、稲葉会長にお願いいたします。会長、よろしくお願い致します。

(1) 平成28年度 第2回帯広市健康生活審議委員会議事録の確認

(会長)

それでは会議に入らせていただきます。

はじめに議題の(1)議事録の確認についてであります。

資料1 前回審議会の議事録をご確認いただきたいと思います。

この議事録はこの場でご確認いただいた後、配布資料と合わせまして、公開される予定となっております。議事録につきましては、皆様に事前にお送りしておりますが、これに関しまして、なにかご質問・ご意見がありましたらお願い致します。

【質疑応答 なし】

(会長)

よろしいですか。

では、ご承認いただいたということで、そのようにして公開させていただきます。

次に議題の(2)第二期帯広市地域福祉計画 平成27年度進捗状況報告について、を議題とします。それでは事務局、説明願います。

(社会課長)

帯広市地域福祉計画につきまして、ご説明いたします。

資料3 平成27年度進捗状況報告書をご覧ください。

この地域福祉計画につきましては、平成26年度に本審議会において審議され、翌平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間として開始されたものでございます。

2ページをお開きください。

3、計画の位置づけでございますが、この計画は、社会福祉法第107条の規定に基づく「市町村地域福祉計画」であり、「第六期帯広市総合計画」の分野計画として、保健・医療・福祉の理念や施策の方向などを示す計画です。

3ページ目にイメージ図を示しておりますが、総合計画のもと、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画や障害者計画、けんこう帯広21、おびひろ子ども未来プランといった既存の関連計画と整合性をもちながら、実施していく計画となっております。

6ページには、基本目標の4つの基本的視点、10の施策の基本方向、評価対象となる29の主な施策の体系を表しております。

7ページには、評価方法及び評価の総合化を載せております。

本計画は施策の基本方向を示したもので、成果指標と数値目標を持ちませんが、評価方法としては、主な施策毎に、関連する事務事業を所管する担当課が取り組みを踏まえ、第六期総合計画における事業の評価も勘案し、A・B・C・Dの4段階で評価しております。その各課の評価を点数化して、総合化を行い、最終的な評価としております。

8ページには、その評価結果の総括表を掲載しております。

29項目中、A順調に進んでいると評価されたものが17項目、Bある程度進んでいると評価されたものが12項目、Cあまり進んでいない、D進んでいないと評価されたものはないという結果でした。

なお、第1期計画の最終評価では、A14項目、B14項目でありまして、項目が変わっている部分もありますので、単純に比較はできませんが、A評価が増えておりますことから、概ね順調に進んでいるものと考えます。

9ページ以降に施策ごとの施策評価表を掲載しております。

時間の関係上、各施策の説明は省略させていただきますが、主な取り組み内容として、平成27年度の実績、それを踏まえた評価、そして課題と今後の取り組みをそれぞれ記載しております。

今後、平成31年度まで計画の進捗状況を評価してまいります。今年度の実施状況も踏まえ、今後の事業実施に生かしていきたいと考えております。説明は以上です。

(会長)

それでは、ただいまの報告についてご質問やご意見がございましたらお受けいたします。

【質疑応答 なし】

ご意見等なければ、第二期帯広市地域福祉計画 平成27年度進捗状況報告について終わります。

次に議題の(3)第二期帯広市アイヌ施策推進計画平成27年度事業実績・平成28年度事業実施状況について、を議題といたします。それでは事務局、説明願います。

(社会課長)

資料4「第二期帯広市アイヌ施策推進計画 平成27年度事業実績・平成28年度事業実施状況」につきましてご説明します。

この計画は、「アイヌの人達の民族としての誇りが尊重される社会の実現」を目標とし、4つの基本方向と12の主な施策を1つの体系として、平成22年度から平成31年度までの10年間に各事業を実施するのでも、計画の性質上、具体的な指標や数値目標は設定しておりません。

ここでは、平成27年度、平成28年度における各課の事業の実施状況の詳細について記載しております。主なものとしては、1頁、(1)啓発活動の推進では①歴史文化、伝統の市民啓発ということで、平成22年度以降、生活館などにおいて「アイヌ生活文化展」を開催しております。

2頁では、文化の振興の(1)知識の普及と啓発の②アイヌ民族の歴史や文化の情報提供啓発活動としまして、百年記念館のアイヌ民族文化情報センター「リウカ」の機能充実等を行っております。(2)文化の保存と伝承では、帯広市指定文化財である「帯広カムイトウウポポ保存会」の活動を支援するほか、アイヌ語や刺繍、食文化の周知にも取り組んでおります。

(2)の③にもありますが、平成27年度からはアイヌ文化推進員を配置し、イオルの再生事業にも取り組んでいるところでございます。その他、3ページ目にありますように、教育相談員や生活相談員を配置し、生活の安定と生活環境の充実等に取り組んでいます。

簡単ではありますが、説明は以上です。

(会長)

それでは、ただいまの報告についてご質問やご意見がございましたらお受けいたします。

【質疑応答 なし】

ご意見等なければ、第二期帯広市アイヌ施策推進計画平成27年度事業実績・平成28年度事業実施状況について終わります。

次に議題の(4)平成29年度保健福祉部・こども未来部予算案について、を議題とします。この予算案は3月1日からの市議会で審議が始まります。それでは事務局、説明願います。

(保健福祉部企画調整監)

保健福祉部 企画調整監の野原でございます。

それでは、私から平成29年度予算概要についてご説明いたします。

お手元の「資料5」をご覧ください。

1枚目が、平成29年度予算案総括表でございますが保健福祉部と、こども未来部に係ります一般会計と特別会計を記載しております。

2枚目からは、主要事業の資料となっております。

それでは、初めに1枚目の保健福祉部に係ります、予算案につきまして、ご説明いたします。

保健福祉部6課の一般会計の平成29年度 当初予算(案)総額は、下段の網掛け部分、保健福祉部総額カッコ民生費+衛生費と書いてある欄であります。

民生費と衛生費を合わせまして、179億2千141万円で平成28年度当初予算と比較いたしますと、10億7千331万8千円の減、率にいたしまして、5.7%の減となっております。

また、一般会計に占める保健福祉部の予算の割合は、平成28年度が22.7%であったのに対し平成29年度は21.4%と1.3%減少しております。

この主な要因としましては、まず、社会福祉費の社会福祉総務費で、国の臨時福祉給付金が来年度は実施されないということで、8億2千5百万ほど減額になっていることが影響しております。

また、老人福祉費では介護施設への補助金が減少したため、1億ほどの減となっており、中段あたりの生活保護費の扶助費では生活保護に係る生活扶助費や介護扶助費が減少したことにより、2億ほど減となっております。

次に、下段の衛生費では、保健衛生総務費において、帯広厚生病院運営補助金の減により約7千万円の減、夜間急病診療費では、休日夜間急病センターの利用料金制度の導入により、1億5千万円ほどの減となっております。

一方、増額となった経費としましては、上段の社会福祉費中、障害福祉費ですが、生活介護や居宅介護などの障害福祉サービスの利用者増に伴う障害者自立支援給付費の増加などにより、2億5千5百万円ほどの増加となっております。

次に特別会計、表の一番下の欄になりますが、介護保険会計でございます。

平成29年度当初予算案が139億8千1万5千円で、平成28年度と比較しまして、7億4千927万9千円、5.7%の増となっております。

主な増加の原因は、65歳以上の要介護認定者の増加に伴う介護サービス給付の増額によるものであります。

続きまして、2枚目以降の主要事業に係る資料をご覧願います。

保健福祉部に関わる主要事業のうち、民生費についてご説明いたします。

主要事業1ページをご覧ください。

「グリーンプラザ施設整備事業」について説明いたします。

総事業費は2千350万9千円となっております。

グリーンプラザの温泉廃止に伴う閉塞工事、浴室改修工事のほか、電話設備改修、給湯ボイラー改修を行うものです。

次に、「地域介護・福祉空間整備事業（地域密着型介護関連施設整備）」について説明いたします。

総事業費は、3億956万5千円となっております。

高齢者が住み慣れた地域で安心安全に暮らせる環境を整えるため、小規模多機能型居宅介護施設や小規模特別養護老人ホームの設備整備し、地域に密着したサービスの提供体制の充実を図ることを目的として、小規模多機能型居宅介護事務所2施設、小規模特別養護老人ホーム1施設、認知症高齢者グループホーム2施設の施設整備を支援いたします。

私からの説明は以上でございます。

（保護担当調整監）

保健福祉部 保護担当調整監の寺嶋です。

次に私の方から、資料5の主要事業の1ページでございます、「生活困窮者世帯の子どもの学習事業の拡充」についてご説明いたします。

総事業費は、450万円となっております。

貧困の連鎖を防止するための取組みとして、これまで生活保護受給を含む生活困窮世帯の小学生、中学生を対象とした学習支援を実施しており、学習力の向上や子どもたちの居場所としての役割を果たしております。

平成29年度におきましては、新たに高校中退防止対策として、学習支援により高校進学を果たした子どもの環境の変化による悩みや、進路などの相談に応じることにより、将来の自立に向けた支援を行うものであります。

私の方からの説明は以上でございます。

(地域包括ケア担当部長)

保健福祉部 地域包括ケア担当部長の名和です。

引き続きまして、私の方から、健康推進課所管分につきまして、ご説明いたします。

資料5の主要事業の4ページをご覧ください。

はじめに、新規事業の「自殺対策計画の策定」につきましては、事業費が49万円となっております。

事業内容は、「自殺対策基本法」が改正されたことに伴い、自殺の地域分析を行い、自殺対策計画を策定するものです。

次に、拡充事業の「ふれあい銭湯事業」につきましては、事業費が310万円となっております。

事業内容は、高齢者を対象に入浴料の割引を行う公衆浴場に対し支援を行うとともに、介護予防事業と連携し、地域交流、健康増進を推進するものです。

保健福祉部に係ります説明は以上でございます。

(こども未来部企画調整監)

こども未来部 企画調整監の長江です。

私から、こども未来部 平成29年度予算(案)概要についてご説明いたします。

同じく、お手許の資料5、1ページ目の平成29年度予算案総括表をご覧ください。

こども未来部に属します、こども課、子育て支援課、青少年課、児童会館の4課の

平成29年度予算案総額は、「平成29年度予算案総括表」の下から2枠目、こども未来部総額、民生費と衛生費合わせまして、102億7,125万2千円で、平成28年度と比較いたしまして、4億4,191万2千円の増、率にしまして、4.5%の増となっております。

一般会計に占める、こども未来部の予算の割合は12.3%で、平成28年度と比較いたしまして、0.6ポイントの上昇となっております。

主な増加の要因でございますが、保育単価の変更に伴う、私立保育所(園)運営費及び公立保育所管理運営費(扶助費)の増や、第2子、第3子以降の加算額の変更に伴う、児童扶養手当の増、栄保育所改築及び川西児童保育センターの増築に伴う、児童福祉施設整備補助事業費の増などがあります。

次に、主要事業のうちこども未来部に関するものをご説明いたします。

主要事業の1ページ目をお開きください。

下から2段目にあります「私立保育所改築事業」につきましては、老朽化した栄保育所の改築費の一部を支援するもので、1億5,993万4千円を計上しております。

改築後、平成30年度の定員は90人から120人に拡大する予定にあります。

次に、「公立保育所の民間移管」につきましては、平成30年4月に民間移管するあやめ保育所の円滑な移管に向けて 移管先法人から派遣を受ける6名の保育士の人件費を支援するほか、施設整備にかかる必要経費として、2,494万円を計上しております。

めくっていただいて2ページ目をご覧ください。

1段目の「へき地保育所整備事業」につきましては、6所あるへき地保育所の認可化に向けた取り組みを推進するため、必要な整備等について基本調査を実施するため、281万9千円を計上しております。

次に「児童保育センター整備事業」につきましては、川西児童保育センターの入所児童の増加が見込まれることから、施設を増築するもので、実施設計及び建設工事にかかる必要経費4,022万円を計上しております。

次に「児童保育センター管理運営業務」につきましては、第2緑ヶ丘児童保育センターの供用開始に伴い、中央エリアの指定管理委託料の変更を行うもので、6,345万1千円を計上するほか、債務負担行為限度額を変更しております。

次に「母子家庭等自立支援教育訓練給付金」につきましては、ひとり親家庭の親の自立促進を図るための給付金について、これまで対象となっていなかった、雇用保険法の一般教育訓練給付の支給を受けるひとり親を対象とするため、必要経費40万円を計上しております。

次に3ページ目の「こども発達支援事業」につきましては、発達支援センターに対する委託業務内容を見直し、加配している補助員を段階的に廃止することに伴い、今年度予算の1,300万円から222万8千円減額し、1,077万2千円を計上しております。

次に「青少年センター事業」につきましては、青少年センターの業務体制を見直し、一部の業務について地域若者サポートセンターの運営事業者に委託するもので、必要経費として308万6千円を計上しております。

めくっていただいて4ページ目をご覧ください。

子育て支援体制の充実といたしまして、はじめに「妊娠・出産サポート事業」につきましては、産前産後サポート事業として、集団形式で助産師や栄養士が相談対応を図るほか、産後ケア事業として、生後57日未満の乳児と母親を対象に、医療機関におきまして、母体の休息の確保や育児指導、乳児の発育・発達確認を実施するもので、必要経費として309万7千円を計上しております。

次に「特定不妊治療費助成事業」につきましては、男性不妊治療費の助成を開始するほか、通算6回までの助成回数について、子ども毎に6回までと変更するもので、必要経費として82万5千円を計上しております。

次に5ページ目の「不育症治療費助成事業」につきましては、妊娠後に流産や死産を繰り返す「不育症」に悩む夫婦に対し、新たに治療費の助成を実施するもので、必要経費50万円を計上しております。

次に「母子栄養食品支給事業」につきましては、住民税所得割非課税世帯などの妊産婦及び乳児を対象に行っている牛乳などの栄養食品の支給について新規の受付を廃止するものです。

今後につきましては、産前産後サポート事業における栄養相談等により対応を図ってまいります。以上が、こども未来部に関わります平成28年度予算(案)の概要であります。

(会長)

それでは、ただいまの説明について

ご質問やご意見などがございましたらお受けいたします。

【質疑応答 なし】

ご意見などなければ、平成29年度保健福祉部・こども未来部予算案を終了いたします。

次に議題の(5)分野別計画の策定について、を議題といたします。
それでは事務局、説明願います。

(保健福祉部企画調整監)

分野別計画の策定につきまして、ご説明いたします。
資料6をご覧ください。

平成29年度にご審議いただき、平成30年度から開始される保健福祉部関連の分野別計画は、第七期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画【計画期間平成30年～32年】第五期帯広市障害福祉計画【計画期間平成30年～32年】の2件でございます。

第五期帯広市障害福祉計画においては、障害者総合支援法及び児童福祉法の改正により、市町村は国が定める基本方針に則り、障害児福祉計画を定めることとされております。
第五期帯広市障害福祉計画と併せて、障害児福祉計画の策定を進めてまいります。

平成29年度にご審議いただき、平成30年度に中間評価を行う計画は、第二期けんこう帯広21【計画期間平成25年～34年】の1件でございます。

自殺対策基本法の改正に伴い、市町村において自殺対策計画を定めるとされており、帯広市の状況に応じた自殺対策計画を策定するため、第二期けんこう帯広21の中間評価とあわせて、分析、計画策定を進めてまいります。

これらの計画策定、中間評価につきましては、表に記載のとおり、ニーズ調査、アンケート調査をはじめ、市民や関係団体との意見交換のほか、この健康生活支援審議会や各専門部会の審議を経て、策定していく予定でございます。

委員の皆様と、活発な意見交換を行いながら、策定を進めてまいりますのでご協力お願い申し上げます。

説明は以上です。

(会長)

それでは、ただいまの説明について、
ご質問やご意見などがございましたらお受けいたします。

【質疑応答】

(会長)

私から一つお願いがあるのですが、分野別の計画表と言いながらも、全て横のつながりを一にして縦割りの行政の流れは良くないと思いますが、横のつながりを持ってして計画をまとめていってもらえればと思いますので、よろしくお願いします。

(会長)

では、分野別計画の策定について、を終了いたします。

それでは、議題の(6)その他についてですが、今日のこれまでの議題も含め、何かご意見、ご質問などございますか。

【質疑応答 なし】

ご意見、ご質問もないようですので、事務局から何かありますか。

(社会課長)

次回の審議会の開催予定について10月か11月を予定しております。
近づきましたら改めて皆様にご案内したいと思います。

(会長)

それでは、次に専門部会を控えているところですので、本日の審議会は、これで閉会といたします。なお、事務局より連絡事項がございましたら、宜しく願いいたします。

(社会課長)

この後7時45分目途に専門部会を開催いたします。
地域医療推進部会は、第3会議室、
健康づくり支援部会は、第4会議室、
児童育成部会は、第2会議室
障害者支援部会は、第5A会議室
高齢者支援部会は、第5B会議室にて行いますので
それぞれの所属部会の会場に移動をお願いいたします。
連絡事項は、以上です。

(会長)

それでは、本日はこれで閉会といたします。
お疲れさまでした。